

仙台ターミナルケアを考える会 第141回「生と死」のセミナー



極度に発達して物があふれる現代社会のなかで、人類がかかる病気「現代の文明病」、その発症の原因が、私たちの生活のしかた、ライフスタイルにあります。

そして、それは生きる時間や場、人との関係性や家族を看取ることにも変化を及ぼしています。

文明の進歩とキリスト教との関係を考察し、「看取る」という視点からお話をいただきます。

とき 平成29年 **11**月 **4**日(土)

13:30~15:30

ところ 仙台市医師会館・2階多目的ホール

(地下鉄河原町駅 北出口)

※駐車場はありません、公共交通機関をご利用下さい。

参加費 **500円** (当会会員は無料)

「看取るといふこと」

〜現代の文明病との関わりから〜

講師 嶋田順好(しまだまさよし)氏

宮城学院学院長(キリスト教学校教育同盟常任監事、東京神学大学理事)

主催：仙台ターミナルケアを考える会

事務局：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2

みやぎいのちと人権リソースセンター2F (但し、毎週水曜日 13:00~16:00)

TEL・FAX 022-293-3275 E-mail: t-care@poem.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://st-care.sakura.ne.jp/>